

ぶん しょ かん つう しん

文書館通信

7号



東御市文書館

令和3年

1月 発行



☎ 文書館直通 0268-67-3312

東御市教育委員会文化財係直通 0268-75-2717

✉ メールアドレス bunshokan@city.tomi.nagano.jp

あけまして
おめでとございます

本年もよろしくお願い申し上げます。

右の写真は、藤田家文書史料として保管されている
昭和2年2月公演の、歌舞伎の解説パンフレットです。



藤田家文書 整理中

さて、今月1月26日は**文化財防火デー**です。これは昭和24年1月26日に、世界最古の木造建築物である金閣寺が火事に遭い壁画が焼失してしまった日でもあります。この火事がきっかけとなり翌年の昭和25年に**文化財保護法**が法律第214号として5月30日に制定され、8月29日に施行されました。その前身が、**史蹟名勝天然記念物保護法**と呼ばれる法律で、大正8年4月10日に法律第44号として制定され6月1日に施行されていますが、文化財保護法ができるまで廃止になった、とても古い文化財を守ろうとする法律です。

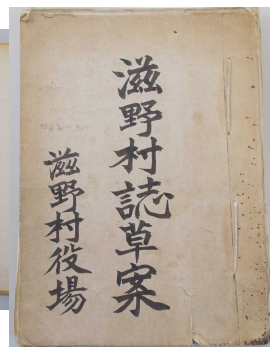
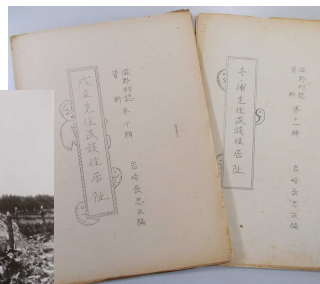
しせき てんねん きねんぶつ いんだて せつき じだい じゅうきよあと

【国指定の史蹟天然記念物：成立石器時代住居跡】

東御市滋野乙（北緯36°21'40.9"東経138°23'07.5"）に**昭和8年2月28日**、**国の指定**を受けた縄文時代の遺跡があります。現在は説明看板と地元有志により建てられた復元住居があります。当文書館で所蔵する、滋野村誌を作成した時の史料の中に発掘調査当時の詳細が書かれていました。



成立遺跡 写真



滋野村誌史料

昭和5年に発掘調査が行われ、昭和8年に国の指定を受けた戌立遺跡は、考古学史に残る大変重要な遺跡でもあります。静岡県の弥生時代登呂遺跡が昭和18年に発見され昭和22年に国内初めての学術調査が行われ昭和49年に国の指定を受けていますが、国指定としては戌立遺跡の方がはるかに早かったわけです。埋蔵文化財としては長野県内では最初に国指定になった遺跡でもあり、文化財保護の歴史においても大変貴重な遺跡です。

こだい かまあと にしみね かまあと

【遺跡が移転保存される古代窯跡：西峰窯跡】

芸術むら公園の南に古代の登り窯が復元展示されています。これは千曲ビューラインの建設に伴い発掘調査が行われた古代の須恵器（すえき）と呼ばれる土器を焼いた窯跡を、芸術むら公園に移転したものです。発掘調査で出土した土器は、東御市文書館の文化財展示室に展示してあります。



芸術むら公園に移転展示される西峰窯跡



東御市文書館展示中の出土土器

須恵器の登り窯は、中国や朝鮮半島の進んだ高い技術を持った専門職人たちによって造られました。須恵器を造るための良質な粘土があること、近くに水と薪となる大量の木々がある場所が選ばれました。



素晴らしい、東御市文書館の銘板が贈呈されました。

書 依田行舟様 刻 寺島大璞様

制作は、桜井区在住の寺島嘉仁さんによるものです。なお、揮毫は東御市の公民館において篆刻講座の指導を長年にわたってされておられた依田行舟さんによるものでありますが、10月4日にご逝去され、当市の依田先生最後の揮毫作品となってしまいました。

大切に後世まで残していきたいと思います。

【文書館展示ご案内コーナー】



《民俗資料展示》北御牧郷土資料館より移管した幻灯機とガラス種板を展示しています。



《自然資料展示》伊藤清志氏より寄贈頂いた蝶の標本を展示しています。